

Ex 160 / A
Doc 5288A

訊問大要

英帝國三等勲章「エルナー・ライド」陸軍大佐ハ正當
ニ宣誓、後、口述致シマス。私ハ四十八、英國國籍ヲ有
シ「ビクトリア」州「エーステッド」デ生シマシタ。本籍地ハ
「ビクトリア」州「モーニングトン」「ザ・エス・プラネイド」デア
リマス

一九四一年(昭和十六年)十二月香港ニ於ケル戰鬥中私
ハ陸軍中佐デ香港野戰病院ノ指揮ヲ執ツテマ
シタ。

一九四一年十二月二十五日、香港陷落後私ハ度々丘
陵上ニ我ガ傷兵ヲ探シ求ムル爲ノ許可ヲ得ニト試ミ
マシタ。許可ハ常ニ拒絶サレマシタガ十二月二十九日
ニナッテ「スタンレー」ニ行ツテ傷兵ヲ收容スル許可ヲ
地方指揮官カラ與ヘラレマシタ。最初「ウォン・ネイ」
「チン」峽谷地帯又ビ同峽谷ノ直グ南ノ地帯ニ行キ、
我ガ軍ノ死体五十五以上ヲ算ヘマシタ。死体ノ多クハ手足
ヲ縛ラレテナッテ、銃劍ノ刺傷又ハ刀傷ヲ大部分ガ其ノ
背中ニ受ケテナマシタ。一人ニ人ノ者ハ頭蓋ヲ割ラレテナ
マシタ。「ザ・リッジ」レパルス灣道路デハ約十二ノ身体ガ
ニ軒ノ家ノ間ニ残ツタ壁ノ上ニ懸ケラレテナッテ其兩
手ハ背後ニ縛ラレタマデシタ。海軍モ陸軍モ双方ノ兵
ガ居リマシタガ大半ノ者ハ認識票ヲ持ツテナマセンデシタ。
私ハ此ノ犠牲者ノ中唯二人ノ名前ヲ覺エテナルダケ
デス。即チ一人ハ兵器部長ノ陸軍中佐「マックス・ス」

Doc 5288 A

テ、彼、旧階級ト旧聯隊、即チ陸軍大尉「ロイヤル」ス、
 聯隊ト記入サレタ認識書ヲ著ケテサマシタ。彼、身
 体、俯伏セニツテサテ、両手、背骨中ニ縛ラレタマデシタ。
 手頭、周リノ一條、狭ク清ヲ除イテ、前腕ト手ト
 ハ、非常ニ腫レテサテ、手頭ヲ結ビテサタ細紐ガ死後
 或ハ時ガ経ツテカラホドカレタニト示シテサマシタ。
 頭部、片側ガ強打サレテサマシタ。也、又、死体ハ
 「ケニン」氏ニテ彼、家ニ横タハツテサマシタ。彼、死因
 ニ関スル肉體上ノ形跡ハ何モ覺エリ居リマセン。

「ガープ」ノ一タ「湾」西方「ライオン」ニニ五
 番ニ通ズル路傍、階段上ニ「ホーストッブ」(定部)ノ懸
 ニ依ツテ夫ト判ル六人「ミドルボックス」予備兵、死体カ
 アリマシタ。彼等、手足、縛ラレタマデアリマシタ。
 道路、反対側、堀割及ビ路傍ニ大キナ血痕ガアツテ
 血ノ條痕ガ其處カラ道路ヲ横切ツテ、死体ガ積重
 ツキテ此階段、所迄伸ビテ居リマシタ。彼等、頭
 部、殆ド完全ニ刀ニ依ツテ切離サレテサマシタ。

5284A

Ex. 1602-A

田中均中尉訊問ノ摘要ノ抜萃ノ

彼ハ正式ニ宣誓ノ上ノ如ク陳述ス

余ハ本年世オニシテ、日本国民デアル。日本國九州福岡

縣ニ生シ、本籍地ハ日本國九州福岡縣久留米市松ヶ枝町

三丁目三十五番地デアル。現在香港「スタンレー」監獄ニ

收監サレテイル。

用戰トナルヤ余ガ居シテ居タ聯隊ハ香港占領ニ参加シタ

一九四二年（昭和十七年）一月末ニ余ハ情勢將校トシテ停虜

收容所ノ職員ニ轉属セラレタ

一九四二年（昭和十七年）六月或ハ七月、午前二時

頃四名ノ「加奈陀人」（「バイン」軍曹「バーンズ」舟卒其他二名）

ハ暴風雨中「ハースポイント」收容所ニ逃走シタ。彼等ハ

端艇一隻ヲドウニカシテ手ニ入レテ九龍側渡航中其ノ

端艇ガ顛覆シタ。彼等ハ追跡シテ未ダ必中尉ニ引揚ゲラレテ

「カイタク」飛行場ニ連行サレタ。其処ニ彼等ハ劊死切ラシ、

銃劊デ斬サレ、且射殺サレタ。其後彼等ノ死体ハ「フォフア

No 1

COPY ROOM 3

No 2

5284A

路ニ在リ信房收容所ニ負物自動車ヲ運バシタ。
死亡證明書ハ発行セラレズ葬式モ行ハシナクタ。
東京三根等ハ信房收容所カラ逃走中射殺サシタ
ト報告サシタ。.....